



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月29日

上場会社名 株式会社 マンダム

上場取引所 東

コード番号 4917 URL <http://www.mandom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西村 元延

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務管理部長 (氏名) 越川 和則 TEL 06-6767-5001

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	41,941	9.1	5,354	2.2	5,812	4.2	6,015	77.6
27年3月期第2四半期	38,452	3.8	5,240	△2.2	5,577	△0.3	3,386	2.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 7,404百万円 (116.7%) 27年3月期第2四半期 3,416百万円 (△40.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	257.30	—
27年3月期第2四半期	144.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	81,132	67,185	75.0
27年3月期	75,980	60,980	73.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 60,880百万円 27年3月期 55,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	37.00	—	39.00	76.00
28年3月期	—	40.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,200	3.2	5,000	△28.5	5,800	△23.6	5,600	26.5	239.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	24,134,606株	27年3月期	24,134,606株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	756,134株	27年3月期	755,827株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	23,378,590株	27年3月期2Q	23,379,156株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
4. (参考) 個別財務諸表等	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表	10
(2) (参考) 四半期損益計算書	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続くなか、政府の経済・金融政策を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、当社海外グループの事業エリアであるアジア経済は、全体的に減速感がみられるなか、緩やかな拡大基調で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループは持続的な成長の実現に向け、「コア事業である男性グルーミング事業の持続的な成長」「女性コスメティック事業の展開スピードのアップ」「成長エンジンである海外事業の継続強化」に取り組みました。

当第2四半期の連結売上高は、419億41百万円（前年同期比9.1%増）となりました。主として、国内外ともに女性分野が概ね好調に推移したことに加え、円安により海外子会社売上高の円換算額が増加したことによるものであります。

営業利益は、53億54百万円（同2.2%増）となりました。これは主として、海外におけるマーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の積極的な投下があったものの、日本における販売費の効率化や増収効果によるものであります。その結果、経常利益は58億12百万円（同4.2%増）となり、インドネシア子会社における固定資産売却益の計上もあったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億15百万円（同77.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（売上高は外部顧客への売上高を記載しております。）

日本における売上高は254億79百万円（同6.8%増）となりました。これは主として、コア・ブランド「ギャツビー」の苦戦を、ルシードや女性分野の好調な推移がカバーしたことによるものであります。利益面においては、マーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の効率的な投下に努めたこと等により、営業利益は41億77百万円（同14.8%増）となりました。

インドネシアにおける売上高は98億8百万円（同16.3%増）となりました。これは主として、インドネシア国内においてコア・ブランドである「ギャツビー」を中心に概ね好調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加があったことによるものであります。利益面においては、マーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の積極的な投下や人件費等の一般管理費の増加があったことにより、営業利益は3億77百万円（同30.2%減）となりました。

海外その他における売上高は66億52百万円（同7.9%増）となりました。これは主として、一部の地域を除き、現地通貨ベースで概ね堅調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加があったことによるものであります。利益面においてはマーケティング費用（販売促進費・広告宣伝費）の積極的な投下があったことにより、営業利益は8億円（同24.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、有価証券が増加したこと等により811億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億52百万円増加しました。負債合計は、短期借入金が増加したこと等により139億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億53百万円減少しました。また、純資産合計は、利益剰余金が増加したこと等により671億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億5百万円増加し、自己資本比率は75.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億44百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には120億8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは72億69百万円の資金収入となり、前年同期に比べ20億20百万円資金収入が増加しました。これは、営業利益が増加したことや、たな卸資産が減少したこと等によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは37億2百万円の資金支出となり、前年同期に比べ24億57百万円資金支出が減少しました。これは、土地使用権の売却による収入があったこと等によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは27億29百万円の資金支出となり、前年同期に比べ26億59百万円資金支出が増加しました。これは、短期借入金の返済による支出があったことや、短期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年9月30日に公表いたしました通期の連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社および国内連結子会社は当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,597	10,448
受取手形及び売掛金	9,662	9,642
有価証券	17,796	21,796
商品及び製品	6,991	5,135
仕掛品	491	603
原材料及び貯蔵品	2,516	2,668
その他	2,029	2,036
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	48,067	52,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,879	11,920
その他(純額)	10,768	6,797
有形固定資産合計	18,647	18,717
無形固定資産	965	1,109
投資その他の資産		
投資有価証券	6,598	7,265
その他	1,712	1,738
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	8,299	8,992
固定資産合計	27,913	28,819
資産合計	75,980	81,132

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,605	1,369
短期借入金	1,817	217
未払法人税等	1,008	1,600
賞与引当金	837	1,155
その他の引当金	336	321
その他	6,189	5,816
流動負債合計	11,794	10,481
固定負債		
退職給付に係る負債	1,590	1,643
その他	1,615	1,822
固定負債合計	3,206	3,465
負債合計	15,000	13,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	36,102	41,205
自己株式	△1,855	△1,856
株主資本合計	56,876	61,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,577	1,904
為替換算調整勘定	△2,440	△2,955
退職給付に係る調整累計額	△40	△46
その他の包括利益累計額合計	△902	△1,097
非支配株主持分	5,005	6,304
純資産合計	60,980	67,185
負債純資産合計	75,980	81,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	38,452	41,941
売上原価	17,099	18,975
売上総利益	21,353	22,965
販売費及び一般管理費	16,112	17,610
営業利益	5,240	5,354
営業外収益		
受取利息	69	93
受取配当金	45	47
持分法による投資利益	91	189
その他	168	162
営業外収益合計	375	492
営業外費用		
売上割引	17	18
為替差損	12	—
その他	9	16
営業外費用合計	39	35
経常利益	5,577	5,812
特別利益		
固定資産売却益	5	4,123
投資有価証券売却益	—	34
特別利益合計	5	4,158
特別損失		
固定資産売却損	1	2
固定資産除却損	10	49
移転費用	—	234
特別損失合計	11	286
税金等調整前四半期純利益	5,571	9,684
法人税等	1,879	1,837
四半期純利益	3,692	7,847
非支配株主に帰属する四半期純利益	305	1,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,386	6,015

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	3,692	7,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	317
為替換算調整勘定	△292	△776
退職給付に係る調整額	△10	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	11
その他の包括利益合計	△275	△443
四半期包括利益	3,416	7,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,181	5,820
非支配株主に係る四半期包括利益	235	1,584

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,571	9,684
減価償却費	1,254	1,338
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△31	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	297	321
受取利息及び受取配当金	△115	△141
為替差損益(△は益)	21	△18
持分法による投資損益(△は益)	△91	△189
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△34
固定資産売却損益(△は益)	△4	△4,121
売上債権の増減額(△は増加)	225	△147
たな卸資産の増減額(△は増加)	△320	1,395
仕入債務の増減額(△は減少)	△61	△203
未払金の増減額(△は減少)	△262	247
その他	181	223
小計	6,661	8,356
利息及び配当金の受取額	105	120
法人税等の支払額	△1,519	△1,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,248	7,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,403	△2,162
定期預金の払戻による収入	595	1,046
有価証券の取得による支出	△23,797	△18,295
有価証券の売却及び償還による収入	21,699	14,300
有形固定資産の取得による支出	△3,187	△1,673
無形固定資産の取得による支出	△180	△338
有形固定資産の売却による収入	14	844
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	65
土地使用権の売却による収入	—	2,578
その他	103	△63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,160	△3,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,051	216
短期借入金の返済による支出	—	△1,744
配当金の支払額	△864	△908
非支配株主への配当金の支払額	△250	△285
その他	△6	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69	△2,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	△93
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,081	744
現金及び現金同等物の期首残高	10,890	11,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,809	12,008

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,854	8,432	6,165	38,452	—	38,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,257	1,815	135	4,207	△4,207	—
計	26,111	10,248	6,300	42,660	△4,207	38,452
セグメント利益	3,639	540	1,060	5,240	—	5,240

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,479	9,808	6,652	41,941	—	41,941
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,984	1,687	212	3,884	△3,884	—
計	27,464	11,496	6,864	45,825	△3,884	41,941
セグメント利益	4,177	377	800	5,354	—	5,354

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(重要な後発事象)

平成27年7月10日(現地時間)に、当社の連結子会社であるPT Mandom Indonesia Tbkのエアゾール生産ラインにおいて、火災事故が発生いたしました。なお、製品の供給につきましては、エアゾール製品以外の生産は既に再開しております。また、エアゾール製品につきましては、当面は外部委託先への製造移管による供給をおこなっております。

当該事象による影響額を合理的に見積もることは未だ困難な状況ではありますが、一定の前提や現時点で入手可能な情報に基づき、平成28年3月期の連結決算において、特別損失として計上する事故関連費用の概算額を約15億円(注)と見込んでおります。

なお、影響額の見積りは、当社が現在入手している情報及び将来の不確実な要因に係る仮定を前提としているため、今後変動する可能性があります。

(注) 1 インドネシアルピア=0.0093円(平成27年8月末時点での期中平均レート)で換算しております。

4. (参考) 個別財務諸表等

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,197	2,551
受取手形及び売掛金	4,863	4,292
有価証券	17,796	21,796
商品及び製品	2,798	2,407
原材料及び貯蔵品	570	645
仕掛品	189	103
その他	1,092	1,143
流動資産合計	30,508	32,940
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,745	6,543
その他(純額)	3,586	3,952
有形固定資産合計	10,331	10,495
無形固定資産	918	1,074
投資その他の資産		
投資有価証券	6,098	6,604
関係会社株式	7,559	7,559
その他	1,701	2,106
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	15,348	16,258
固定資産合計	26,597	27,829
資産合計	57,106	60,769

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	874	842
未払法人税等	836	347
賞与引当金	744	770
その他の引当金	287	248
その他	3,002	4,234
流動負債合計	5,745	6,443
固定負債		
退職給付引当金	489	461
その他	1,174	1,349
固定負債合計	1,664	1,811
負債合計	7,409	8,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	27,359	29,837
自己株式	△1,855	△1,856
株主資本合計	48,133	50,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,563	1,903
評価・換算差額等合計	1,563	1,903
純資産合計	49,696	52,514
負債純資産合計	57,106	60,769

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (参考) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	25,554	26,961
売上原価	11,355	11,824
売上総利益	14,199	15,137
販売費及び一般管理費	10,353	10,779
営業利益	3,846	4,357
営業外収益		
受取配当金	435	491
その他	160	67
営業外収益合計	596	558
営業外費用		
関係会社人件費負担金	8	5
為替差損	2	7
売上割引	—	4
その他	9	3
営業外費用合計	20	21
経常利益	4,421	4,894
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	10	37
特別損失合計	10	37
税引前四半期純利益	4,411	4,858
法人税等	1,433	1,467
四半期純利益	2,978	3,390

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。